

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)
 Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年1月10日 (木)

NO. 925号

本号3頁

憲法共同センター 今年初めての「9の日」宣伝行動 1人で15筆集めた参加者も!

新宿駅西口で9日12時から13時まで、憲法共同センターの今年初めての「9の日」宣伝行動が行われました。冷たい北風が吹きあられる中、8団体20人が参加し、安倍9条改憲NO!・憲法を生かす3000万人署名への協力を呼びかけました。1時間で38筆が集約され、中には1人で15筆集めた方もいました。

宣伝カーの上からは、日本共産党の宮本徹衆院議員と、全労連、全商連、憲法会議、民医連の代表が訴えました。宮本議員は「自民党の改憲案は、日本国憲法の平和主義を骨抜きにするものだ。改憲は許してはならない」と述べるとともに、「参院選挙では1人区でしっかりと野党が統一して、候補を立てて勝利し、安倍政権を倒そう」と呼びかけました。



全労連、全商連、民医連の代表、そして憲法会議の高橋が共通して訴えたことが、①昨年の通常国会・臨時国会で改憲論議をさせなかったことは大きな成果、しかし新年早々安倍首相は改憲をめざすと発言しており、今年こそ安倍改憲を阻止しよう。さらに、②昨年12月「防衛大綱」「中期防」を閣議決定し、一機116億円のF35Aの購入、「いずも型」護衛艦の空母化をめざすなどなど、「専守防衛」から攻撃型、侵略型の自衛隊に大転換しようとしている、極めて危険、③沖縄県民の民意を踏みにじり、辺野古へ土種投入し、新基地建設を強行していることを止めさせよう、④そのためにも、早期達成をめざしている3000万人署名にご協力ください、でした。



70代の女性は、「安倍さんは怖い。孫のためにも戦争させてはならない」と語り、88歳の女性は「憲法は私たちのもの。平和が一番だ」と語り、署名しました。

ホワイトハウス前で、「辺野古新基地NO」直接訴える集会開催 請願署名数は20万1207人(日本時間8日午後7時半現在)

米首都ワシントンのホワイトハウス前で7日、『辺野古新基地NO』直接訴える集会が行われました。集会では、沖縄県出身者や退役軍人らでつくる平和団体「ベテランズ・フォー・ピース (VFP)」のメンバーらがマイクを握り、日米両政府が強行する名護市辺野古の新基地建設中止を訴えました。また、沖縄県内でも7日、ワシントンの活動と連帯する集会が北中城村の米軍キャンプ瑞慶覧石平ゲート前で開かれました。参加者らは、「ウチナーンチュは諦めない」「基地は環境を破壊する」「米国は当事者だ」と声を上げました。



ホワイトハウス前では、ニューヨーク州から駆け付けたウチナー民間大使のてい子・与那覇トゥーシーさん=名護市出身=は、かつて辺野古で魚を取った思い出を語り、沖縄の米軍基地の過重な負担は「日本本土による『NIMBY (自分の裏庭には来るな)』の明確な事例だ。米国も当事者だ」と糾弾。翁長雄志前知事の言葉、「うちなー

んちゅ うしゅーてーないびらんどー（沖縄人をないがしろにははいけませんよ）」とホワイトハウスに向かって訴えました。

ホワイトハウスへの請願を呼び掛けたロバート梶原さんは、19 万人以上の署名が集まったことに「本当に感激した」と述べました。また、梶原さん自身がトランプ米大統領をはじめ、政府高官や連邦議員ら約 100 人に請願を伝える手紙や電子メールを送ったことを紹介し、「ウチナンチュは決して諦めない」と決意を新たにしました。

平和を求める元軍人の会—琉球・沖縄（VFP—ROCK）のフランク・デラ・ペーニャさんは「新基地は大浦湾の美しいサンゴを破壊し、ジュゴンを絶滅の危機に追いやる。基地は環境汚染や事故、犯罪、特に女性に対する犯罪の根源だ」と、ダグラス・ラミス代表のあいさつを代読しました。

沖縄県出身の妻を持つマシュー・ジェルベさん＝メリーランド州在＝は「サンゴを守ろう」という手作りのプラカードを持って参加。「辺野古への基地建設は必要ない。米国人として、人として、黙ってはいけない」と語りました。

各地のとくみ

徳島 3日「安倍政治を許さない」ポスターを掲げ、3000万人署名呼びかける！

徳島憲法共同センターは3日、徳島市で「安倍政治を許さない」ポスターを掲げ、安倍9条改憲に反対する3000万人署名への協力を呼びかけました。

午後1時に徳島駅前でポスターを掲げ、「安倍やめろ」「増税するな」「9時を守ろう」とコールしました。県労連の森口英昭事務局長は「戦争の多くの犠牲の上に平和憲法ができた。私たちは戦後が続くことを願っている」と述べ、「安倍政権は権力を私物化し、政治のモラルを踏み外した」と批判しました。



日本共産党の山田豊県議も2019年、今年こそ「忘れず、あきらめず、連帯して」を合言葉にたたかい、安倍政権を退陣させようと訴えました。帰省していた県外の学生さんも輪に加わりました。また、吉田美知代元県議は「統一地方選、参院選で安倍政治を終わらせ、国民の願いが届く政治へ全力で頑張らましようと呼びかけました。

署名した市内の女性は「私の父親は戦死した。だから9条を変えることには絶対反対です」と語りました。帰省していた県外の学生さんも輪に加わりました。

旭川 雪降りしきる旭川駅前「安倍政治を許さない」プラカードを掲げアピール

雪が降りしきる北海道JR旭川駅前3日、「旭川共同行動実行委員会（レッドアクション）が今年最初の「安倍政治を許さない」プラカードを掲げアピールしました。

旭労連、新日本婦人の会旭川支部、旭川民主商工会、道北勤医協などから35人が白い息を弾ませて駆けつけ、買い物客や通行人に安倍9条改憲反対3000万人署名と消費税10増税反対の署名を呼びかけました。



旭川行動実行委員会は、2015年11月3日に作家の澤地久枝さんの呼びかけに応じてプラカードアピールを再開しました。

以来、雨の日も吹雪の日も休むことなく、毎月3日に「安倍政治ノー」と市民にアピールして来ました。去年は、市民と野党の共闘の力で自民党新人に大差で打ち破り、西川将人市長の4選を勝ち取りました。

行動終了後、「頑張って、今年こそ安倍政治を止めさせようね」と参加者は決意を新たにしました。

- コール・アベ政治を許さない
- ・私たちはあきらめない
- ・私たちは手をつなごう
- ・ひとりひとりの命を守れ
- ・政治と社会は変えられる
- ・市民と野党は共同しよう
- ・ひとりひとりの暮らしを守れ
- ・一緒に未来を作っていこう
- ・安倍政権を退陣させよう

広島 原爆ドームそばで 3000 万人署名 45 分で 139 人分

広島市中区の前原ドームそばの元安橋で 3 日、「平和を求めるヒロシマ女たち実行委員会」は安倍 9 条改憲ノーの 3000 万人署名への協力を呼びかけました。40 人が参加し、45 分間で 139 人分の署名が寄せられました。

また、沖縄・辺野古への米軍新基地建設のための土砂投入の賛否を問うシール投票では家族連れや若者らが相次いで応じ、埋め立て反対は 139 票集まり、賛成の 7 票を大きく上回りました。

参加者はリレートークで「子どもや孫たちに大事な平和憲法をしっかりと手渡すため、平和への思いを署名に託してください」「沖縄県民の意思は新基地ノーです」と訴えました。

赤ちゃんを連れた女性 (26) は「日本こそ核兵器をなくす先頭に立ってほしい」と署名。20 代の男性 3 人組は「基地いらぬ。土砂投入のニュースに胸が痛みます」と話しました。

兵庫 戦争法、「共謀罪」法等の廃止を求めパレード 兵庫県弁護士会が協賛

憲法違反の秘密保護法、戦争法、「共謀罪」法廃止を求め 8 日正午すぎ、兵庫県憲法共同センターなどがパレードしました。兵庫県弁護士会が協賛しました。

神戸市の三宮東遊園地での出発集会で、兵庫県憲法会議代表幹事の和田進神戸大学名誉教授は、9 条改憲を許さない運動と世論の広がりでも自民党改憲案を国会に提示させなかった成果とともに、改憲策動を強める安倍首相の姿勢を指摘。大軍拡計画と国民の生活を破壊する消費税 10%増税とのたたかいを強調し、「明文改憲阻止のたたかいと憲法を破壊する安倍政治に対するたたかいを強化する一年にしよう」と呼びかけました。

パレードを見送っていた女性 (82) は、「憲法を変えるのは反対と思っても声に出さない人が多いのに、えらい。世界と戦争もせず、安全にやって来たのに、憲法を変える必要はありません」と話していました。

45 人が参加し、元町駅前までパレードしました。



安倍 9 条改憲 NO !
辺野古新基地建設は断念を！安倍政権退陣！
1・19 国会議員会館前行動
1月19日 土 14:00 ~ 第2議員会館前を中心に

主催
安倍 9 条改憲 NO !
全国市民アクション実行委員会
戦争させない・9 条壊すな！
総がかり行動実行委員会